

12月定例会の審議議案

全会一致で可決・同意された案件

番号	件名	結果	
92	平戸市行政組織条例の一部改正について	原案可決	
93	平戸市火葬場条例の一部改正について		
94	平戸市療育支援センター条例の一部改正について		
95	平戸市健康広場条例の廃止について		
96	平戸市春日集落拠点施設条例の制定について		
97	平戸市立病院新改革プラン点検評価委員会条例の制定について		
98	平成29年度平戸市一般会計補正予算(第4号)		
99	平成29年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第2号)		
100	平成29年度平戸市病院事業会計補正予算(第2号)		
101	指定管理者の指定について		前津吉インフォメーション
102			度島漁港フェリーターミナル
103			観光交通ターミナル
104			ふれ愛センター度島
105			田助ハイヤ節伝承館
106			農林水産物集出荷貯蔵施設
107			紙漣の里ふれあい施設
108			多目的集会施設
109		山田地区活性化センター	
110		堺目地区活性化センター	
111		大島地区活性化センター	
112		中野ふれあい会館	
113		獅子ふれあい会館	
114		中津良ふれあい会館	
115		志々伎ふれあい会館	
116		田平町南地区交流センター	
117		田平町東地区交流センター	
118	公有水面埋立免許出願に係る意見について	同意	
119	平戸市総合計画基本構想の策定について		
120	平戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について		
121	平戸市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について		
122	平戸市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について		
123	平戸市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		
127	平成29年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		
128	平成29年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第3号)		
129	平成29年度平戸市水道事業会計補正予算(第4号)		
130	平成29年度平戸市病院事業会計補正予算(第3号)		
131	平成29年度平戸市交通船事業会計補正予算(第2号)		
132	平戸市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		

賛否が分かれたが、可決された案件

議案等名	議員氏名 (議席番号順)	賛成	反対	山崎一洋	池田稔巳	山田能新	田島輝美	山内政夫	松尾実	小山田輔雄	神田全記	近藤芳人	井元宏三	松本正治	辻賢治	吉住威三美	竹山俊郎	山本芳久	山内清二	綾香良一	大久保堅太	結果	
																							賛成
124 平戸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	15:2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
125 平戸市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	15:2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
126 平成29年度平戸市一般会計補正予算(第5号)	15:2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ●は反対 議長は、可否同数の時以外、採決に加わらない。

平成29年12月定例会、9人の議員が一般質問に立つ(文責は、いずれも本人)

●玄海原発の再稼働反対に真剣な努力を  
市長は、反対表明したけれど国・九電に再稼働を止めるための働きかけを行わず



山崎 一洋 議員

**問** 市長は昨年4月、玄海原発の再稼働反対に真剣な努力を表明した。しかし、その後は国・九電に対して、再稼働を止めるための働きかけを行っていないことが明らかになった。  
また、4市(平戸・松浦・佐世保・吉岐)が県に提出した玄海原発に関する要望書の具体化も、不十分であることが明らかになった。  
東京電力福島第一原発の事故は、発生から7年が経過しようとしているが、収束の目途がない。原因も不明それにもかかわらず、国は再稼働を推進している。  
再稼働を止めるために、自治体や議会が声をあげることは重要だ。市長は反対表明後、国・九電に玄海原発の再稼働を止めるための働きかけを行なったのか。

**答** 市長  
県内の関係4市による原発事故での避難対策の充実に関する要望書を取りまとめ、県を通じて国に働きかけよう、県知事に要望書を提出している。  
**問** それならば、なおさら市長として国に対して、再稼働絶対反対を表明すべきだ。  
要望書に「離島住民及び家畜等の飼育者等は、島内及びその地域にとどまる屋内退避も考慮する必要があることから、多くの住民が一時的に避難できる放射線防護施設の建設のため予算を確保するよう、要請すること」とある。田平町も30キロ圏内であり、多くの人が家畜を飼育している。要望書には田平町のことも含まれているのか。  
要望書は4月、今は12月。8カ月間何をしてきたのか。あなた方の仕事は、具体化して、万が一の事故に備える、そして住民の命と暮らしを守るということだ。  
要望書は出したけれども、具体化はしていませんというのでは、仕事をしているとは言えない。  
**答** 総務部長  
田平町については含まれていない。大島も含めて、放射線防護施設をどこに作るかなど、具体化は難しい。

●委員会構成が下記のとおり変更となりました

総務厚生委員会		産業建設文教委員会	
委員長	山本 芳久	委員長	神田 全記
副委員長	綾香 良一	副委員長	井元 宏三
委員	近藤 芳人	委員	池田 稔巳
委員	田島 輝美	委員	小山田 輔雄
委員	山内 政夫	委員	竹山 俊郎
委員	山崎 一洋	委員	辻 賢治
委員	山田 能新	委員	松尾 実
委員	吉住 威三美	委員	松本 正治
		委員	山内 清二

※変更日(H29.12.8)・議長は職務上、総務厚生委員会に所属したあと辞任しています。

●議員が構成員となっている各種審議会等が下記のとおり変更となりました

	変更前	変更後
北松北部環境組合議会	綾香 良一	山内 清二
平戸市民生委員推薦会	小山田 輔雄	綾香 良一
平戸市都市計画審議会	綾香 良一	松本 正治

※変更日(H29.12.8)・変更となった議員名のみ記載